

2025 年 1 1 月 2 日 降誕前節第 8 主日礼拝次第

主日礼拝(聖徒の日)

前 奏 (黙 想)

招きの言葉 ヨハネの手紙一3章 2 節(新約 443 ㊦)

讃 美 歌 11(感謝にみちて)

主の祈り <C>(讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩51編 1~11 節(交読詩編 59 ㊦)

聖 書 創世記4章 1~10 節(旧約 5 ㊦)

祈 禱

讃 美 歌 134(神よ、われをあわれみ)

説 教 「アベルはどこにいるのか」田中雅弘牧師

讃 美 歌 500(神よ、みまえに)

信 仰 告 白 使徒信条(讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88(こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

主の祈り C(讃美歌21 93-5-C)

司式者) 天の父

一 同) わたしたちの父よ、
み名があがめられますように。
あなたの国が来ますように。
みこころが天と同じく地でも行われますように。
きょうのパンを きょうお与えください。
わたしたちの負い目をおゆるしください。
わたしたちも負い目をゆるし合います。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
かえって悪からお救いください。
国も力も栄えも、限りなくあなたのものです。アーメン

聖 書 創世記4章 1~10 節

カインとアベル

1 さて、アダムは妻エバを知った。彼女は身ごもってカインを産み、「わたしは主によって男子を得た」と言った。 2 彼女はまたその弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。 3 時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来た。 4 アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来た。主はアベルとその献げ物に目を留められたが、 5 カインとその献げ物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。 6 主はカインに言われた。

「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。 7 もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」

8 カインが弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した。

9 主はカインに言われた。

「お前の弟アベルは、どこにいるのか。」

カインは答えた。

「知りません。わたしは弟の番人でしょうか。」

10 主は言われた。

「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる。」

讃美歌11番

- 1 感謝にみちて み神をたたえん。
すべてささげ みわざをうたわん。
母の胎に ありし日より
あがないたもう 神の力。
- 2 わがいのちの すべての日々を
恵み祝し 平和をあたえ、
いかに深き 悩みすらも
あわれみもて いやしたまわん。
- 3 栄光と賛美 ささげてうたわん。
父なる神 み子と聖霊に、
昔いまし 今もいまし
永遠にいます ひとりの主に

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ

讃美歌134番

- 1 神よ、われをあわれみ、
背きし罪をぬぐい
とがを すべて洗いて
きよめたまえ、わが罪。
- 2 わが とがを われは知る。
罪は 絶えることなく
常に わが前にあり。
あわれみたまえ、神よ。
- 3 きよきヒソプの枝で
わが罪を 振り払い、
雪よりも白くなし、
全く清くしたまえ。
- 4 きよき心 造りて
授けたまえ、聖霊。
み救いの よろこびを
返したまえ、われにも。
- 5 神に受け入れらるる
まことの捧げものは、
打ち碎かれし心、
罪を悔いる たましい。

讃美歌500番

- 1 神よ、みまえに よろこび集う
われらの祈り うけいれたまえ。
- 2 めぐみゆたかに 心満たされ
み名のさかえを 歌わせたまえ。
- 3 聖霊により 救いを示す
いのちのことば さとらせたまえ。
- 4 求めるものを 見捨てたまわず
めぐみの神よ、ちからをたまえ。
- 5 悩み、苦しみ、病むときもなお
主にある恵み よろこび歌え。